CAM SHAFT 取扱説明書

商品番号：０１－０８－０１２７ （Ｆ－１０）
※０１－０３－７００８ Ｒステージヘッド専用。
　ノーマルエンジンには取り付け出来ません。

この度は、当社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
このカムシャフトは、Ｒステージのパワーを最大限に引き出すための専用のカムシャフトです。
ご使用につきましては、説明書をよくお読みになって、指示を必ず守りご理解した上でご使用下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

⚠注意 下記内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

・作業を行う際は、その作業に適した工具を使用して行って下さい。
　（部品の破損、ケガの原因となります。）
・タコメーターを必ず使用し、指定回転数以下でご使用下さい。
　（オーバーレブは、エンジンに悪影響を与えるだけでなくエンジン破損の原因となります。）
・点検、整備は、定期的に行って下さい。
　（点検、整備を怠るとエンジン破損の原因につながります。）
・点検、整備を行った際、損傷部品があれば、必ず損傷部品の交換をして下さい。
　（損傷部品の使用を続けると、エンジン破損の原因につながります。）

⚠警告 下記内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。
　（そのまま、走行すると事故につながる恐れがあります。）
・エンジンを運転する場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では行わないで下さい。
　（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
・作業を行う際は、エンジンを安定させ、安全に作業を行って下さい。
　（不安定な状態での作業は、エンジン等が倒れてケガをする恐れがあります。）

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。
◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後１ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
◎この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

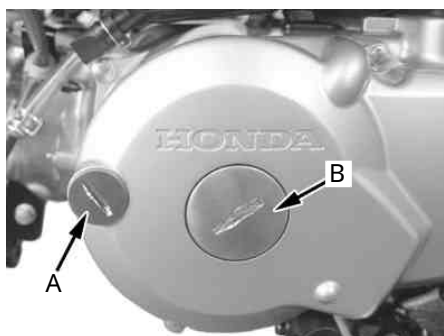
～商　品　内　容～

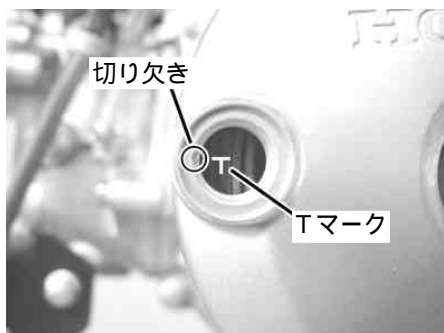
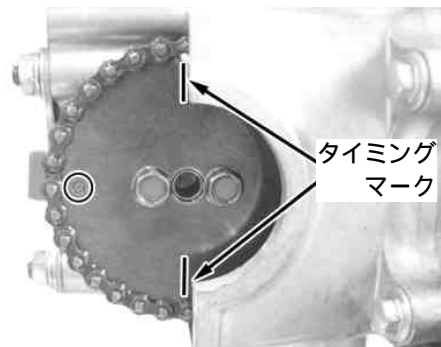
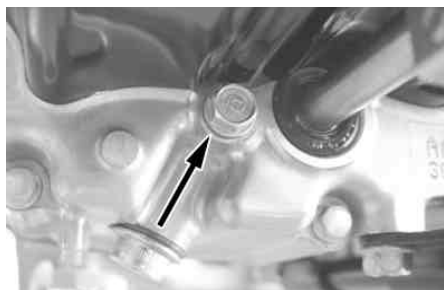
品　　名	個数
カムシャフトＣＯＭＰ．	１

Jul./30/ 09

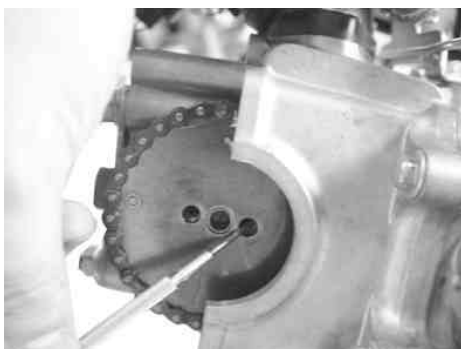
〜取　り　付　け　要　領〜

○クランクケース左カバー取り外す

◇A、Bの２つを反時計回りに回して外す。

○カムスプロケットを取り外す

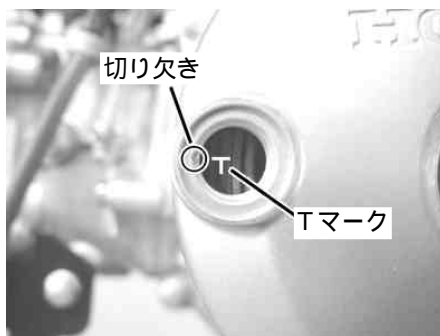
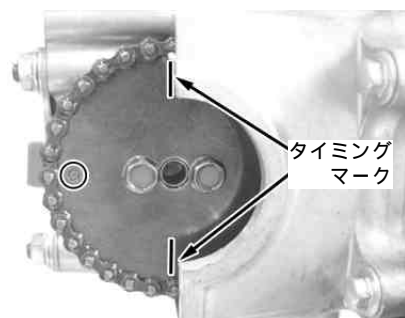
◇フライホイールのＴマークとカムスプロケットのＯマークを前方に向け、タイミングマークをシリンダーヘッド側面に合わせ、各切り欠きに合う様にフライホイールを反時計方向に回転させて合わせる。

◇チェンジペダルシャフトの横にある６角ボルトを取り外す。
（カムチェーンテンショナーが緩むのでカムチェーンが取り付け易くなります。

少しオイルが出てきますので締めた後は拭き取って下さい。

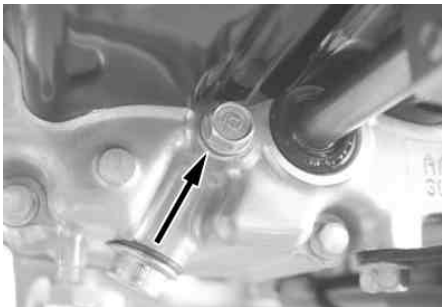
◇フライホイールを固定しカムスプロケット６角ボルト２個を反時計方向に回し取り外す。

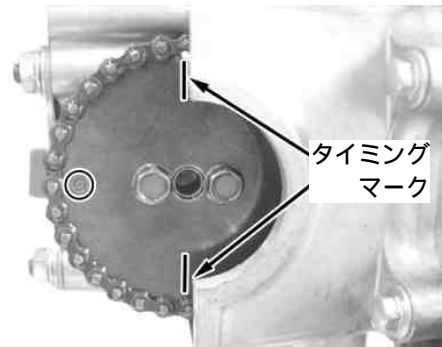
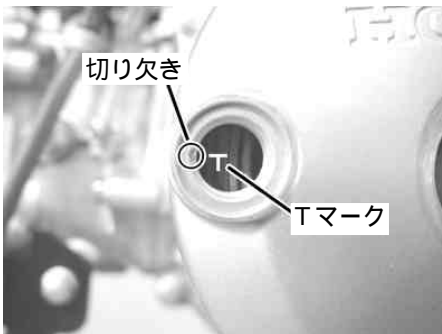
◇カムスプロケットをカムシャフトから外す。
◇カムチェーンをカムスプロケットから外してカムスプロケットを取り出す。
◇カムシャフトの中心部にはまっているノックピンを外す。
（ノックピンは再使用する。）

◇シリンダーヘッドよりストッパープレート、ロッカーアーム、ロッカーアームシャフトを取り外す。

◇キットのカムシャフトを取り付ける。
カムシャフト・カムシャフトベアリングにきれいなエンジンオイルを塗布する。入りにくくてもハンマー等でたたかず手で入れる。
◇ノーマルカムに付いていたノックピンをキットのカムに取り付ける。
◇取り外したロッカーアーム、ロッカーアームシャフト、ストッパープレートを取り付ける。
ストッパープレートボルト
１２Ｎ・ｍ（１.２ｋｇｆ・ｍ）
※ロッカーアームシャフトがロッカーアームに取り付け出来ない場合は、ロッカーアームのアジャスティングスクリューを緩める。

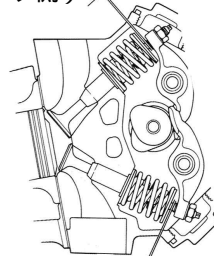
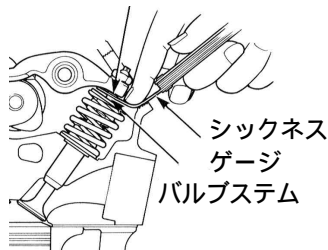
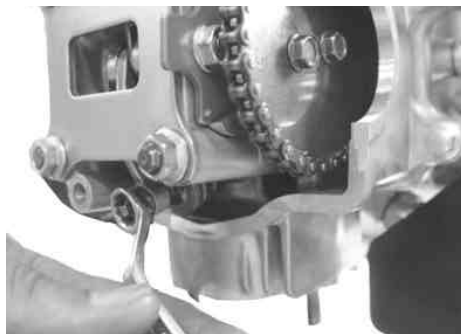
○カムスプロケットの取り付け

◇フライホイールのＴマークをクランクケースの切り欠き部に合わせ、ピストンを圧縮上死点に合わせる。
◇カムスプロケットボルト穴をシリンダーヘッドの切り欠き方向に向けたときカム山がピストン側を向く様にカムシャフトをセットする。それがカムシャフトの圧縮上死点です。

◇カムスプロケットの‘Ｏ’マークを前方方向に向け、タイミングマークをシリンダーヘッドカバー合わせ面に合わせ、カムチェーンをかける。

◇フライホイールを固定してカムスプロケットボルトを２本締め付ける。
締め付けトルク
９N・m（０.９kgf・m）

◇チェンジペダルシャフトの横に先程外したボルトを取り付け、締め付ける。
締め付けトルク
１０N・m（1.０kgf・m）

○バルブタイミング調整とタペット隙間の調整

◇クランクシャフトを時計回りに２回転し、フライホイールのＴマークとケースの切り欠き部とタイミングスプロケットマークが前方を向いた状態で合わせマークが合っているかを確認する。

◇ロッカーアームのタペットアジャスティングスクリューを締め込んでいき、タペットアジャスティングスクリューとバルブステムエンドの間にシックネスゲージを入れて少し抵抗があるくらいで引き抜ける様に合わせてタペットアジャスティングナットを締め付ける。
ＩＮ側　０.１０mm
ＥＸ側　０.１２mm
１４mmボックスレンチ＆中ロングジョイントでクランクを合わせる。

◇タペット調整後、反時計方向にフライホイールを２回転回した後でＴマークとＯマークタイミングマークを合わせる。

◇タペットすき間が変化していないか点検し、すき間が合っていればＯＫ、くるっている場合は調整する。この作業を合うまで繰り返して下さい。

株式会社 SPECIAL PARTS 武川
〒５８４－００６９　大阪府富田林市錦織東三丁目５番１６号
TEL ０７２１－２５－１３５７　FAX ０７２１－２４－５０５９
お問い合わせ専用ダイヤル　０７２１－２５－８８５７
URL http://www.takegawa.co.jp